平成25年度　Ｂブロック勉強会　アクションプラン

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年2月13日（木）

◆テーマ（お薬手帳・疑義照会・残薬確認・ジェネリック・一般用医薬品）

　　　　　　お薬手帳
◆個人で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

　従業員全員でお薬手帳の有用性を伝えていない。薬局へ持参してこないこと。

薬局の説明不足と患者さんの手帳の必要性の理解不足。手帳の大切さが伝わっていない。が問題

◆班で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

お薬手帳の活用のアピール不足　　　　　　　が問題

◆アクションプラン

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |  |
| --- | --- |
| ４班 | 目標：一歩進んだお薬手帳を目指す |

　　目標にいたる具体的な解決策

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| いつ（実施時期） | 明日 | 誰が（実施主体） | 薬局職員全員 |
| 誰に（働きかけ先） | 患者 |
| どのように（方法） | * 保険証を入れられるような手帳カバーを活用する。
* お薬手帳の重要性を記載した印刷物を配布する。
* 薬剤師が必要事項を手帳に書き込む。
* お薬手帳の持参を先に声かけ
 |
| 備考 |  |

◆振り返り

|  |
| --- |
| ・問題点のしぼり方が悪くて少し大きなテーマになったような気がする。もう少し具体的なアクションプランを聞いてみたかったです一番できることは手帳に自ら書き込んでいき、又、患者さんにも体調などを書き込んでもらうよう促していくのが直近のアクション目標です。・お薬手帳に関して以前と比べて受身で業務を行っていたのではと思いました。これからあと一歩踏み込んで薬局の見える化を進めていきたいと思う。・お薬手帳を使った更なる患者さんとのコミュニケーションの必要性と、情報元としての重要性のアピールを心がけた仕事、対応に努めなければと感じた。・薬剤師が手を加えることにより患者さんのためになるお薬手帳に進化できたらいいと思う・丁寧な説明（患者ごとの理解度に応じて言葉を選ぶ）の反復につきるのかなと思いました。患者が立て込むと、どうしても説明がおろそかになり、その患者さんが次回来局時にお薬手帳を持参することは期待できません。お薬手帳を所持する事による利点等を説明したパンフレットの作成や保険証や診察券も収納できるカバーを同時に配布できればかなり普及するとは思いますが・・今回は法改正を見るにつけ経費の問題が・・・。以前、来局毎にお薬手帳の持参を促していた患者さんが「手帳を忘れたら、薬局に入りづらい」と言われた事もあるので説明にも気をつけなければと思います。 |

 |